

広報

にしあいづ

8

2024
No.790

SNSで情報発信中



Facebook



LINE

登録をお願いします！



西会津町町制施行70周年

もくじ Contents

P2 特集 集落ぐるみで行う鳥獣被害対策

P4 まちの話題

西会津小学校交通安全鼓笛パレード、富士山山開き、
西高生が奉仕作業 ほか

鳥獣被害対策研修会

多種多様な野生動物の出没に対しては、集落ぐるみで対策をすることが重要です。町では「集落ぐるみで行う鳥獣被害対策」を支援するため、自治区単位で「鳥獣被害対策研修会」を開催しています。

【研修会の内容】

・研修

鳥獣被害対策の基本的な考え方を学びます。

・集落環境診断

自身の集落における野生動物の出没情報、被害状況を確認します。

・集落ぐるみの対策の立案

自分たちでできる対策と町に依頼したい対策を分類することでまとまりのある活動につなげます。



小綱木自治区の実践

令和5年の夏から秋にかけてツキノワグマの出没が相次ぎ、人身被害の恐れが高まりました。

そのため、小綱木自治区長から「効果的な対策を実施したいがどうしたらよいか」という相談が町に寄せられ、令和5年9月に研修会を開催しました。

●自治区独自で「有害鳥獣対策隊」を結成

対策実施の中心的役割を担う有害鳥獣対策隊は自治区内で、主体的に活動できるメンバーで構成され、野生動物の出没対応や活動計画の作成、自治区内への普及啓発などを行います。

令和6年度の対策第1弾として、長年、遊休農地となっていた場所の草刈りを行いました。ここは令和5年度にツキノワグマの移動ルートおよび潜伏地となっていました。

今後も自治区内のヤブ化している場所について緩衝帯整備の年次計画を作成し、野生動物が出にくい環境づくりをしていく予定です。さらに、ニホンザルやツキノワグマの目撃に備え、組織的な追い払い体制の整備も行います。

活動はスタートしたばかりですが、自治区が一致団結して対策を行うことで必ず被害は減少していきます。今後、対策の効果検証を行いながら継続的に活動を行う予定です。



町専門員との連携



荻原 謙介 専門員

専門員は、野生動物の動向を把握し、知識を駆使して効果的な鳥獣被害対策を町民の皆さんに伝えるために活動しています。

専門員に異動はありません。しかし、鳥獣被害対策の窓口の多くは自治区長が担っています。そのため、自治区長が短期間で交代すると、専門員との長期的な対策方針が立てられないといったデメリットも見られました。

小綱木自治区のように鳥獣被害対策の専門組織を設立すると、町と自治区が同じ顔触れで長期的な連携が可能となります。お悩みの際にはぜひ町へご相談ください。

町民の皆さんの実行力と町の専門的な支援が一つになることで必ず鳥獣被害は軽減していきます。町では今後も支援を強化していきますので、ぜひ一緒に取り組みましょう。

集落ぐるみで行う鳥獣被害対策



(図) 3本柱の総合対策



近年、全国各地で相次ぐ野生動物による生活環境被害や農林業被害、町内全域に出没する多種多様な野生動物から、私たちの生活をどのように守っていくのか、効果的な対策とは何かを考える必要があります。

今月号では鳥獣被害の現状とその対策を特集します。

〈問い合わせ先〉

農林振興課 林政係 ☎ 45-4531

鳥獣被害の現状

令和4年度の全国における野生鳥獣による農作物被害額は約156億円となっており、全体の約7割がニホンジカ、イノシシ、ニホンザルとなっています。全体的には緩やかに減少傾向となっていますが、依然高止まりの状況です。

また、町内における令和4年度の農作物被害額は約279万円となっており、ニホンザル、ツキノワグマ、イノシシが被害を発生させています。町内においても被害は減少傾向となっていますが、依然として大きく町内全域で被害が発生しています。

ニホンザルの生息域は、野沢地区の一部と群岡、新郷、奥川地区の全域、ツキノワグマとイノシシの生息域は町内全域となっています。

「野生動物の数を減らす＝被害はなくなる」というわけではない。

重要な3本柱の総合対策

「野生動物の数を減らせば被害はなくなる」という声を多く聞きます。当然、個体数の減少は被害軽減のために大事なことです。

現在、行政の施策により捕獲頭数は年々増加していますが、被害は大きく減少していないのが現状です。

そこで重要なのが「3本柱の総合対策(左図参照)」です。

この3本柱の総合対策は、集落に出没する原因となる放任果樹などを管理し、移動ルートのヤブを無くすことで出没しにくい環境を作る対策です。また農作物は侵入防止柵で囲む。さらに捕獲することで個体数を減らせば確実に被害は減少することが全国各地で実証されています。

食育体験 !! 和食道場（魚編）

5日18日、㈱リオン・ドールの社会貢献事業の一環として、こゆりこども園で食育体験が実施されました。「魚」をテーマに、鯛をさばいているところを観察し、目やヒレを実際に触っていました。園児たちはきらきらした鱗や魚の手触りに驚いたようでした。その後、焼いた鯛を試食し、「ふわふわしている」「甘くておいしい」など魚のおいしさを感じていました。



西会津こども研幾塾開塾式

6月14日、町役場で西会津こども研幾塾の開塾式が行われ、第6期生8人が参加しました。式では、副塾長の五十嵐教育長から「日本だけでなく、世界で活躍できる人になってほしい」とあいさつがありました。次に、塾長である薄町長の講話を聞いた塾生たちは、その後の質問タイムで好きなミネラル野菜などについて薄町長へ質問し、丁寧な回答に納得していたようでした。



西会津町町制施行 70 周年記念イベント 「第1回ミネラル野菜市」

6月16日、よりっせで第1回ミネラル野菜市が開催され、多くの来場者が訪れました。この日販売されたアスパラやたまねぎ、カブは完売しました。本イベントは、さらなるミネラル野菜の普及啓発を目的に、西会津町町制施行 70 周年記念イベントの一環として6月から11月まで月1回の開催を予定しています。



西会津町総合教育会議

7月9日、令和6年度の西会津町総合教育会議が町役場で開催されました。はじめに町長から「町の教育情勢はさまざまな取り組みの中で着実に進展してきている。時代を担う人材の育成にさらに力を入れていきたい」とあいさつがありました。この日は、部活動の地域連携や出前講座の推進などについて協議が行われました。



西会津小 交通安全鼓笛パレード

6月20日、交通安全鼓笛パレードが行われ、西会津小学校の3～6年生が交通安全と交通事故の防止を呼び掛けました。沿道には地域の皆さんや保護者、西小の1・2年生が集まり、演奏を見守りながら、声援を送っていました。パレードは旧町役場駐車場から野沢駅前を通り、町公民館まで行われました。この鼓笛パレードは、町民の皆さんへの交通安全啓発と児童一人一人の交通安全意識の高揚を図るため、毎年行われています。



西高生が奉仕作業で 町内をきれいに

7月2日、西会津高校の生徒が町内のゴミ拾いを行いました。この奉仕作業は毎年行われ、校舎周辺、通学路周辺に分かれて実施されました。午前中まで期末考査を受けていた生徒たちですが、疲れをみせず一生懸命に取り組んでいました。日頃お世話になっている地域の皆さんに感謝を伝える気持ちで奉仕作業をした生徒たちは、爽やかな汗を流していました。

富士山山開き

7月14日、日本で2番目に高い富士山の第9回山開きが、新郷・小清水自治区で行われました。山麓と山頂では、西会津大山さゆり太鼓の演奏が行われ、登山客を鼓舞しました。下山後には、おにぎり、新じゃがのくじら汁が振る舞われ、登山に訪れた皆さんは、西会津の富士山を満喫したようでした。



西中町民図書館 新刊オススメ本



『三淵嘉子の生涯』
[佐賀 千恵美 著]
内外出版社

朝の連続テレビ小説の主人公モデルになり、日本初の女性弁護士の1人で、のちに女性初の裁判所長になった三淵嘉子の生涯をまとめた本です。筆者が三淵氏の実弟や周辺の人から聞いたエピソードがふんだんに書かれています。仕事、結婚や出産、再婚など、パーソナルな部分も垣間見える1冊になっています。

また、会津にもゆかりがあり、戦時中は会津坂下町へ疎開し、幼い子どもを育てていました。慣れない農作業をして過ごし、「戦友」という軍歌をよく口ずさんでいたそうです。男尊女卑の色濃い時代に強く生きた彼女の生涯をドラマと見比べながら読んでみてください。



『ゆうびんの父』
[門井 慶喜 著]
幻冬舎

『若杉ばあちゃんの今日も明日も身軽な暮らし』
[若杉 友子 著]
すばる舎



『夜露がたり』
[砂原 浩太郎 著]
新潮社

『俺たちの箱根駅伝 上下巻』
[池井戸 潤 著]
文藝春秋



町民ギャラリー フォトクラブどんぐり

今月は、フォトクラブどんぐり・大竹 隆一さん（原）の作品です。



📷 作品名
「天空の花園」

📷 作品紹介
「雄国沼湿原植物群落」は、国の天然記念物に指定されている。特にニッコウキスゲが咲き誇る7月上旬は、湿原一面が真っ黄色の絨毯を敷き詰めたように広がり幻想的。まさに「天空の花園」その景色を見るために多くのハイキング客やカメラマンが湿原を訪れる。

町民作品展示スペース「町民ミニミニ美術館」

町民の皆さんが制作した絵画や写真などの作品を展示できる場所として「町民ミニミニ美術館」を役場1階町民ホールに設置しました。作品は数ヵ月ごとに入れ替え、年間を通して展示していきます。

第1回目は「飯豊百景 in 西会津抜粋展」として、町内各地で撮影した飯豊山の写真を「西会津ぐるっと山ネットワーク」から提供いただき展示しています。役場にお立ち寄りの際にはぜひご覧ください。



第35回西会津町民美術展 2024 開催

7月13日から7月15日の3日間、「第35回西会津町民美術展 2024」を野沢体育館で開催しました。

会場には絵画や写真、陶芸、書道、手芸など町民の皆さんが作成した205点の自慢の作品が並び、来場者を楽しませました。

また、今回は展示の一部として大画面に写真を映し出す「デジタル写真展」を初めて実施しました。スマホやタブレットで撮影した町の風景や人物など、応募があった写真108枚で構成されたスライドショーは、鑑賞した来場者の心に改めて町の良さや懐かしさを印象づけていました。





町のスポーツ振興に役立てて

チャリティーゴルフで集まった募金を寄付

6月24日、町商工会の清水幹久会長と多賀剛副会長が町役場を訪れ、6月9日に開催された西会津町民親善チャリティーゴルフ大会で参加者から募った募金を町に寄付しました。清水会長から寄付を受けとった薄町長は「毎年、貴重な寄付をありがとうございます。スポーツ振興のために大事に使わせていただきます」と謝意を述べました。



▲ 薄町長（左）に寄付を手渡す清水会長（中央）と多賀副会長（右）

町長コラム

その42



町内には、様々なまちづくり団体やグループがあり活発な活動が行われている。

先日、富士山山開き実行委員会主催による、日本で2番目に高い富士山（標高 508.8 m）の第9回山開きが新郷小清水地内で開催された。町内外から多くの登山者が訪れ、近年では山頂で大山さゆり太鼓の演奏が行われるなど登頂者を楽しませている。本地域には、「西会津富士の郷」という地域づくり組織があり、十数年前から大学や民間企業と連携し、桜やスイセンなどの植栽による花いっぱい運動や、富士山を活かした地域活性化に取り組んでいるほか、県や町の補助事業を活用して、花見山の整備や東屋の建設を実施している。この花見山では、昨年10月に会津耶麻地方緑化推進委員会の植樹祭が行われた。今年の春には満開の花桃の中、地域住民の花見会が行われ、私も出席し皆さんとの楽しい時間を過ごした。

令和5年2月、地域の人口減少が進む中で、奥川の地域を後世に残すための取組みを実践する「奥川地域づくり協議会」が設立された。会の目的は、地域の自慢と誇りを再確認し、地域の様々な課題を解決するための実践

を通して、地域住民の福祉増進、産業振興、生活文化の振興と地域資源を活用した活性化を図るとともに、協働による持続可能な地域づくりについて、地域を挙げて取り組むこととしている。本年3月には「未来型『結』」の精神で、未来（次世代）につなげるまちづくりをテーマとした奥川地域づくりビジョンを策定された。これまで、地域づくり講演会の開催、人足ボランティアや農業体験の受入れ、ドキュメンタリー映画の制作上映会など、様々な活動を展開中である。また、令和7年度開学予定のオンライン大学「ZEN 大学（仮称）」との連携協定を締結した。

この他、協働のまちづくり推進委員会の「旧尾野本小学校講堂」の利活用グループ、中野区むらおこし実行委員会による様々な活動、先日には、町民有志6人による西会津初の子ども食堂「みんなのキッチン」が開催され、子どもから高齢者まで多くの人で賑わった。

こうした町や地域を想う様々な方々の取り組みや活動が、希望に満ちた未来へ繋ぐ大きな原動力になることを期待しているところである。

西会津町長 薄 辰喜

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。



森林・林業の発展へ向け結束

森林組合 60 周年記念式典

町森林組合創立60周年記念式典が6月15日、野沢体育館で行われ、出席した関係者が節目を祝いました。森林組合は昭和39年に設立以来、町内の森林整備や森林環境保全に取り組んできたほか、後進の育成にも力を入れ、町林業振興の一翼を担ってきました。

今後も森林組合の果たす役割は大きく、町や関係機関などと連携を図り、森林・林業の発展に向け、取り組む決意を新たにしました。



子どもたちの歯科衛生の向上に尽力

学校歯科医 渡部晴彦さんへ感謝状贈呈

6月17日、町役場で学校歯科医感謝状贈呈式が行われ、補正堂歯科医院の渡部晴彦さんへ感謝状が贈られました。薄町長は「長年、子どもたちの歯の健康維持のためにご尽力いただきありがとうございました」と感謝のことばを伝えました。

渡部さんは、昭和60年度から令和5年度まで39年間、学校歯科医を務め、子どもたちの歯科衛生の向上に尽力されました。



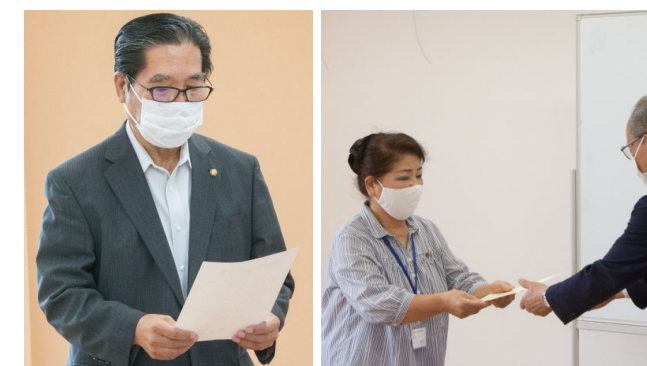
▲ 左から薄町長、渡部さん、五十嵐教育長

安心で安全な地域社会を築くために

社会を明るくする運動 大臣メッセージ伝達

社会を明るくする運動とは、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、安心で安全な明るい地域社会を築くために法務省が推進している全国的な運動です。

6月24日、町役場で第74回社会を明るくする運動内閣総理大臣メッセージ伝達が行われました。式では、喜多方地区保護司会の東條勝会長より内閣総理大臣メッセージが、喜多方地区更生保護女性会の花見弥生会長より福島県知事メッセージが薄町長へそれぞれ伝達されました。



▲ 東條 勝会長

▲ 花見 弥生会長



お知らせ INFORMATION

ケーブルテレビ
さゆりチャンネル
8月の放送案内

◆夏季特番

特別編成で上半期にしいあ
づニュースワイドなどを放送
します。

詳細は、にしいあづニュー
スワイドでお知らせします。

〈問い合わせ先〉

(一社)西会津ケーブルネット
☎ 45-4461



児童扶養手当等の 現況届の提出

児童扶養手当および特別児
童扶養手当を受給している人
は、年1回、受給資格の審査
を受けるために現況届の提出
が義務付けられています。対
象となる人には8月中旬に関
係書類を送付しますので、期
日までに提出してください。
現況届を提出しないと、8
月以降の手当が受給できませ
ん。また、2年間届出をしな
いと資格を失うことになりま
すので、必ず提出してくださ
い。受給資格などの詳細は左
記まで問い合わせください。
児童扶養手当 18歳までの子
どもを持つひとり親家庭など
に支給されます。
特別児童扶養手当 身体また
は精神に障がいのある児童を
監護または養育している家庭
に支給されます。

〈提出・問い合わせ先〉

子育て支援センター
(こゆりこども園内)
☎ 45-4332

クマの出没に 注意しましょう

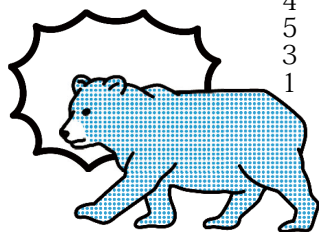
会津管内では例年クマによ
る人身被害が発生しています。
本年も町ではクマの目撃情報
が数件寄せられており、人家
近くにクマの出没が確認され
ています。

クマに遭遇しないために、
音の出る物を身に付け、人間
の存在をクマに知らせるよう
にしましょう。また、フンな
ど新しいクマの痕跡を見つけ
た場合は、引き返す勇気を持
ちましょう。

もしクマに遭遇してしまっ
た場合は、背中を見せずにゆっ
くりと後ずさりしながら離れ、
立木の陰などクマの視界を外
れてから逃げましょう。

〈問い合わせ先〉

農林振興課 林政係
☎ 45-4531



自治区で行う 除草作業を支援

町では、自治区で行う生活
道路の除草作業に対し、次の
ような支援を実施していま
す。いずれも申請が必要で
すので、詳しくは左記まで問
い合ってください。

◆支援内容

- トラクター装着型草刈り機
の無償貸与
- 自走式草刈り機の無償貸与
- 草刈り機械用混合油などの
無償交付(1回10リットル・年2
回まで)



自走式草刈り機



トラクター装着型

〈申請・問い合わせ先〉

建設水道課 管理係
☎ 45-4530

米のモニタリング 検査に伴う出荷・ 販売自粛のお願い

本年度も、米のモニタリン
グ検査を実施します。結果が
判明するまでは米の出荷・販
売・無償譲渡などを控えるよ
うお願いします。

なお、検査結果は県ホーム
ページのほか、ケーブルテレ
ジでも随時更新します。

〈問い合わせ先〉

農林振興課 農政係
☎ 45-4531

水道メーター 検針時のお願い

水道のメーター検針は、毎
月20日(22日)に実施していま
す。検針員が検針しやすいよ
う、次のことにご協力をお願
いします。

- メーターボックスの上に物
を置かない(草木などがあ
れば除草する)
- メーターボックスの中をき
ろく

除草機械を無償 で貸出します

福島県では河川や道路の清
掃・美化活動および維持管理
作業の効率化を図るため除草
機械の貸付を行っています。

◆貸付対象者

- 道路河川愛護団体(各自治区
道および川サポート団体)
- 維持管理に関して、県から
受託契約している人

◆使用場所

県が管理する道路・河川

◆申請方法

使用前に「物品借受申請
書」を町建設水道課に提出し
てください。

◆草刈機械機種

- ①手押し型
- ②リモコン型
- ③乗用型
- ④アタッチメント型
(バックホー)
- ⑤アタッチメント型
(トラクター)



リモコン型

〈申請・問い合わせ先〉

建設水道課 管理係
☎ 45-4530

れいに保つ(土砂などがあ
れば撤去する)

〈問い合わせ先〉

建設水道課 上下水道係
☎ 45-4534



農業用水の 適正管理を 心掛けましょう

今後の天候によっては、農
業用水が不足する恐れがあり
ます。互いに協力し、節水に
努めましょう。

◆今すぐできる対策

○集落内(近隣集落)で時間
帯や取水量についてルール
を決める

○水路の下流にも水が行き渡
るように、上流の田には必
要以上の取水を控える

○水のかけ流しなど多くの水
を必要とする水管理は控え
る

〈問い合わせ先〉

農林振興課 農政係
☎ 45-4531

専任の相談員が あなたの就職を 応援します！

ふくしま生活・就職応援セ
ンターは県内事業所への就
職・再就職および生活再建に
関する就労相談窓口です。専
門の支援相談員が常駐してお
り、窓口・電話相談のほか、
オンライン相談も実施してい
ます。利用は無料ですので気
軽に相談ください。

◆主な支援内容

個別相談、各種情報提供(生
活資金・住居情報・職業訓練
情報)、就職氷河期世代相談
支援、職業紹介、各種セミ
ナー、心理カウンセリングな
ど

〈相談・問い合わせ先〉

ふくしま生活・就職応援セ
ンター 会津若松事務所
☎ 0242-278258



ふくしま生活・就職応援
センターHPはこちら



あなたと関係のある「がん」があります

【子宮頸がん予防】HPV ワクチンとがん検診を受けましょう

- 子宮頸がんは、子宮の入口にできるがんです。その95%以上がヒトパピローマウイルス（HPV）の感染によるものです。
- 30～40歳代の女性に多いがんですが、近年では20歳代女性の発症も増えています。毎年、全国で約1.1万人の女性が子宮頸がんになり、約3,000人の女性が亡くなっています。
- 子宮頸がんはHPV ワクチンを接種することで予防することができます。HPV 以外にもがんになる原因はありますので、定期的に検診を受け、がんで命を落とすリスクを減らしましょう。

◆接種対象者（接種費用は無料です）

- ・定期予防接種＝小学6年生～高校1年生相当の女性（標準接種 中学1年生）
- ・キャッチアップ接種＝平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれでワクチン未接種の女性

※高校1年生とキャッチアップ接種対象者の人へ
ワクチンの無料接種は令和7年3月末までです。ワクチンは3回接種する必要があるため、9月頃までに1回目の接種を受けましょう。

〈問い合わせ先〉 子育て支援センター ☎45-4332

介護職員初任者研修 受講生募集中！

研修期間 8月29日（木）～12月11日（水）
（講義・演習・実習 130 時間、研修日数 38 日間）

募集定員 10人

募集対象 介護事業所などへの就業を希望する人、その他介護の知識や技術を身に付けたい人

受講料 西会津町・喜多方市・北塩原村の人、町外在住で町内に勤務する人＝**6,600 円**
上記以外＝**11,600 円** ※テキスト代などを含む。

募集締め切り
8月5日（月）

※研修会場は、町公民館です。（会場外での実習有り）
※申込書は、町役場福祉介護課、奥川支所、新郷連絡所にあります。
また、町ホームページからもダウンロードできます。

〈申込・問い合わせ先〉 福祉介護課 福祉係 ☎45-2214

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。
詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1 枠当たり縦 4.0 cm×横 8.5 cm
- ◆掲載料 1 枠当たり 5,000 円／月

〈問い合わせ先〉
企画情報課 広報広聴係 ☎45-4536

スマホ教室を
開催します

安心・安全にスマホを使いこなせるよう、スマホ教室を開催します。参加には事前申し込みが必要です。

◆日時

8月26日（月）～27日（火）
午前・午後

◆場所

奥川みらい交流館

※9月に新郷連絡所と旧群岡中学校でも開催予定です。

◆内容

【1日目】安心安全なスマホの使い方など
【2日目】スマホの便利機能紹介など

※両日とも午後個別相談会を開催します。

◆参加費

無料

〈参加申込先〉

㈱エヌ・エス・シー

〈問い合わせ先〉

企画情報課 デジタル戦略室
☎45-4536

訓練生募集
ポリテク
センター会津

ポリテクセンター会津では訓練生を募集しています。

◆募集コース・定員

・建築CADリノベーション技術コース
定員15人

◆訓練期間

10月1日（火）～

令和7年3月31日まで

◆対象者

公共職業安定所に求職登録している人で、職業訓練の受講が望ましいと判断された人

◆受講料

無料

◆募集期間

8月5日（月）

～9月11日（水）
※最寄りのハローワークへ相談の上、申し込みください。

〈問い合わせ先〉

ポリテクセンター会津訓練課
☎0242-2610520

8月は食品
衛生月間です

細菌が増殖しやすい夏場は、食中毒が発生しやすい季節です。家庭での食中毒予防のポイントを押さえますよう。

◆食品を購入する時

・消費期限をチェックする
・肉、魚は分けて包む

◆家庭で保存する時

・帰ったらすぐ冷蔵庫へ！
・入れるのは7割程度にして10℃以下を維持

◆下準備の時

・肉、魚は生で食べるものから離して置く
・包丁などの器具、ふきんは洗って消毒

◆調理する時

・作業前に手を洗う
・加熱は十分に！（目安は中心部分の温度が75℃で1分）

◆食事の時

・食事の前に手を洗う
・盛り付けは清潔な器具、食器を使う

コミュタン福島

スタディキャンパス2024 in Summer

環境創造センター開所8周年を記念して、キャラメルマシンやマリカ先生のサイエンスショー、トイドローン操縦体験や各国のごみの捨て方を学べるプログラムなど、学んで楽しめる体験メニューが盛りだくさんのイベントを開催します！

詳細は、コミュタン福島ホームページを確認してください。

- 日時 8月17日（土）、18日（日）午前9時～午後5時
- 会場 福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」
- 参加料 無料

〈問い合わせ先〉

コミュタン福島スタディキャンパス2024 運営事務局
☎024-983-3498



▲コミュタン福島
ホームページはこちら



職員採用試験案内 (一般事務〈高校卒程度・土木〉)

「一緒につくろう このまちの未来」 町職員の採用候補者試験を実施します

町では、令和7年度の町職員採用候補者試験を次により行います。詳しくは問い合わせください。

◆申込用紙の請求

申込用紙は町役場で交付します。郵便により申込用紙を請求する場合は、封筒の表に「高校卒程度（一般事務）試験申込書請求」もしくは「高校卒程度（土木）試験申込書請求」と朱書きし、120円切手を貼った自分宛の返信用封筒（角型2号）を必ず同封してください。

また、町ホームページからダウンロードすることも可能です。その際は必ずB4サイズで出力してください。

◆申込方法

申込用紙に必要事項を記入して、町役場に提出してください。申込書を郵送する場合は、封筒の表に「試験申込」と朱書きして送付してください。

◆試験申込の受付期間

令和6年7月8日（月）～8月16日（金）（執務時間中に限ります）

※郵送により申込書を提出する場合は、8月14日（水）までの消印のあるものに限り受け付けます。

〈問い合わせ先〉総務課 総務係 ☎45—2211

【試験職種別採用予定人員および試験内容など】

試験職種		一般事務（高校卒程度）／土木	
採用予定人数		若干名	
受験資格		昭和59年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた人。学歴は問いません。（注）	
試験	第1次試験	期日	令和6年9月22日（日）
		会場	「磐梯町中央公民館」耶麻郡磐梯町大字磐梯字仁渡1018番地
		日程	受付 午前9時～9時30分
			◎教養試験 午前10時～正午 ◎専門試験（土木のみ） 午後1時～2時30分
		◎事務適性検査・性格特性検査・職場適応性検査 （一般事務）午後1時～2時25分（予定） （土木）午後2時45分～4時10分（予定）	
	試験の内容	①教養試験 職員として必要な一般知識および知能について、択一式による筆記試験を行います。 【出題分野・出題数】 時事、社会・人文、自然に関する一般知識 20問 文章理解、判断・数的推理、資料解釈に関する能力 20問 （「古文」、「哲学・文学・芸術等」、「国語」の出題はありません）	
		②専門試験（土木のみ） 土木職として必要な専門知識および能力について、択一式による筆記試験を行います。	
	合否の発表	令和6年10月（予定）に役場掲示板に合格者の受験番号を掲示するほか、受験者全員に文書で合否を通知します。	
第2次試験		第1次試験の合格者に対して、小論文および面接による試験を行います。 ※期日は令和6年11月（予定）、会場は西会津町役場を予定しています。	

（注）次のいずれかに該当する人は受験できません。

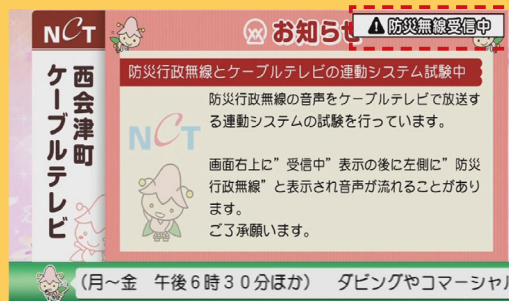
- ①日本国籍を有しない人
- ②禁錮刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの人
- ③本町職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人
- ④日本国憲法施行の日以後において日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した人

防災行政無線をさゆりチャンネルで聞くことができます！

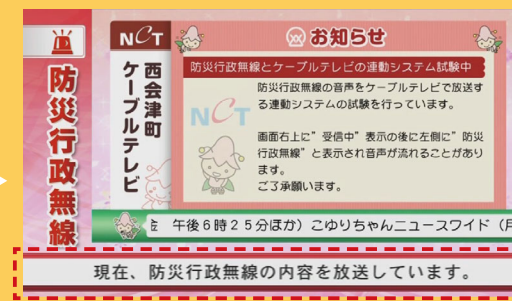
町では、ケーブルテレビと役場の防災行政無線を連動した「音防災システム」を導入しています。

防災行政無線が聞き取りにくいお宅でも、さゆりチャンネルで防災行政無線をはっきりと聞くことができます。

◎テレビで防災行政無線を聞く方法



①防災行政無線のチャイムが聞こえたら、テレビをさゆりチャンネル（11チャンネル）に合せてください。



②受信録音した音声流れます。赤枠内の字幕が表示されます。

“オレンジカフェいいで愛” in 尾野本 開催のお知らせ

オレンジカフェいいで愛は、介護やもの忘れに関する悩み事の相談、情報交換など、カフェでの交流を通して、もの忘れとの付き合い方や仲間と出会える場です。

【日時】 8月28日（水） 午前10時～

【会場】 にぎわい番所ぷらっと

【参加費】 無料（飲み物・菓子付き）

【申込み】 参加希望の場合は事前予約が必要です。

8月22日（木）までに地域包括支援センターに連絡ください。また、送迎が必要な場合も気軽に相談ください。

〈申込・問い合わせ先〉

にしあいづ地域包括支援センター ☎45—3327
福祉介護課 介護係 ☎45—2214

ただいま、ふくしま。2024 in 東京

福島県では、首都圏に住む福島県出身者の若者を対象とした交流会を東京都内で開催します。出身者同士で横のつながりを作る絶好の機会です。現在、参加者を募集中です。対象となる家族、友人・知人へぜひご案内ください！

日時	9月28日（土） 午後3時～5時30分（予定）
会場	BASE Q（東京都千代田区東京ミッドタウン日比谷6階）
対象者	首都圏在住の福島県出身の若者
定員	200人
〈問い合わせ先〉	福島県庁ふくしまぐらし推進課 ☎024—521—8023



◀特設サイト・参加申込はこちら

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。



集落支援だより

皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊集落支援担当の井上です。

今月は奥川で行われた体験活動やイベントについて紹介します。



地域おこし協力隊 集落支援担当
いのうえ とも 井上 朋 隊員

奥川で田植え体験

5月26日に、奥川で田植え体験を実施しました。今回の田植え体験には県外の大学生や社会人の皆さん、総勢27人が集まりました。当日は、朝ごはんを奥川みらい交流館で一緒に食べてから出発しました。最初に田んぼへ水を流すための水路を見学し、その後、実際に田んぼに入り、手植えをしていきました。初めて田植えをした参加者はその貴重な経験に感動していました。



また、お昼には奥川のお米を使ったおにぎりを食べ、地元の人と参加者の交流が行われました。参加者からは、「また参加したい！」「次の人足

も来ます！」という嬉しい声が届きました。



奥川七観音ウォーク

6月2日に、奥川地区で七観音ウォークが開催されました。当日はあいにくの雨で足元が悪い中でしたが、福島大学の学生と一般の皆さんにご参加いただきました。奥川地区の各地にある観音様を巡り、参加者は歴史を学びながら楽しくウォーキングをしていました。



N高生が西会津に

令和6年3月7日に西会津町と連携協定を締結した学校法人角川ドワンゴ学園が運営するN高等学校の生徒が、職業体験として町を訪れました。

本プログラムは『生きる』と『生かされる』を知るというテーマのもと、奥川地域づくり協議会が主体となっていました（応募は99人）。



3日間のプログラムでは、自炊をしたり、西会津町を舞台にしたドキュメンタリー映画を観て、町の未来について議論したりしました。プロダ

ラム終了後のアンケートでは、「将来の生き方について考えるきっかけになった」などの意見があり、生徒たちはとても満足したようでした。



健（検）診を受診しましょう！

8月から町の健（検）診が始まります。健（検）診を受けることは、病気の早期発見や、食事・運動など日ごろの生活習慣を確認し、病気を予防できるなど、さまざまなメリットがあります。

健診

健康の維持や生活習慣の改善が目的です。

【内容】

身体測定、血圧測定、尿検査、血液検査など

検診

がんなどの特定の病気を早期に発見し、治療につなげることが目的です。

【内容】

胃、肺、大腸、乳、子宮頸がん検診、胃がんリスク検診、歯周病検診など

健診受診者、未受診者における
1人あたりの医療費

■ 後期高齢者医療保険者
■ 国民健康保険被保険者

健（検）診を受診していない
人の医療費は受診した人の
約 8.8 倍！



健康増進課 健康支援係
石川 皓也主査

6,690 円

3,759 円

2,931 円

58,937 円

40,065 円

18,872 円

受診者の医療費 未受診者の医療費



健（検）診時間は約 1 時間！



健康増進課 健康支援係
内山 豊夏美副主任保健師

健（検）診はすべてを受診しても約 1 時間です。

受付時間も地区ごとに時間の割り当てを行うことで、できる限り待ち時間の短縮に努めています。



すべて無料で受診できます！

通常 1 万円以上かかる検査がすべて無料で受診できます。

今年 2 月の健（検）診意向で申し込みをしていない人も、申し込みをすることができますので、健康増進課 健康支援係（☎ 45-4532）へお電話ください。

診結果を分析し、食生活の改善を行っています。何ごとも「やれない」ではなく、「やってみよう」という前向きな気持ちで人とのふれ合いを大切に、健康でいい人生を送りたいと思っています。

毎月開催している 1 町内サロンの世話人として、お菓子にさすけねえ輪っを貼って配布しています。近所の方と会い、話すことが私のさすけねえ輪っです。また、こども園の子育て広場「おいでおいで」でふれあい遊びや絵本の読み聞かせを行っています。現役の保育士時代にやりたいと思っていたことが実現でき、子どもやお母さん達に「また来ます」と笑顔で言ってもらえることが幸せです。

体の健康については、去年の健



◀ 鈴木房さん（1 町内）

今月のさすけねえ輪っ実践者

戸籍の窓口 (6月受付分)

■ まちの人口

	7月1日現在	(前月比)
人 口	5, 4 7 3 人	(- 2 人)
男	2, 6 7 7 人	(+ 3 人)
女	2, 7 9 6 人	(- 5 人)
世 帯	2, 4 9 0 世帯	(- 2 世帯)

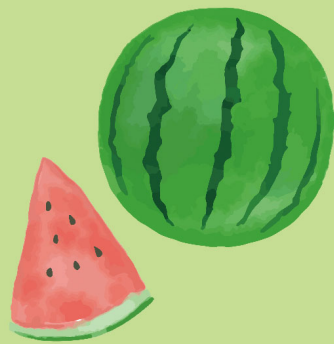
■ お誕生おめでとう

熊倉 侑橙くん 聖那・真子 9町内

佐藤 楓湮くん 卓・沙羅 上野尻

■ お悔やみ申し上げます

仲川	ツネ子 (95)	幸助	母	10町内
伊藤	大 (94)	一	父	堀越
山本	シヅイ (95)	佐藤征子	母	4町内
佐藤	キミエ (89)	和敏	母	上小島
堀田	重夫 (93)	雅彦	父	上野尻
矢部	智恵子 (99)	隆一	母	小屋



Dream

聞いて！わたしの夢



〔西会津中3年・広報委員長〕

こばやし かなる
小林 奏月 さん

◆私の夢——

僕は将来、一級建築士になりたいと思っています。そのために今できる勉強を一生懸命して、知識を蓄えています。大きくなって変な道に進まぬように子どものうちにたくさん学んでおきたいです。大人になっていろんな経験を積んでも初心を絶対に忘れない人になりたいです。

◆努力していること——

勉強はもちろんですが、部活動などの運動面でも頑張っています。子どものうちにしかできないことを精いっぱいすることを心掛けています。

◆未来の自分に一言——

毎日笑って過ごしていますか？

Person

町民バトンタッチ

ぬまた みさ
沼田 美沙 さん〔西原〕

◆趣味は？

レジン工作

◆特技は？

すぐ寝られること

◆自分を一言で表現すると？

好き嫌いが激しい（笑）

◆あなたのモットーは？

何事も全力で

◆最近感動したことは？

小学生の子どもたちの運動会（がんばって走っている姿に感動しました）

◆これからやってみたいことは？

家族旅行に行きたい

◆次の方を紹介してください

H・K さん

とっておきの物は？

子ども達しかありません。大切な大切なかわいい子ども達。大きくなりました。



みんなのひろば



成田 孝之さん（7月号）からメッセージ

受けてくれてありがとうございます。次、お願いします！



Column

協力隊リレーコラム

3年間頑張ります！

皆さんこんにちは！今年4月から地域おこし協力隊になりました、遠藤海渡と申します。埼玉県出身で、3月までは福島市に住んでいました。名前に似合わず海からは遠ざかっています。このコラムを書いている時点で西会津に来てから3カ月経っている、こちらの暮らしにも慣れてきたなと感じています。

ボランティア支援部門担当ということで、町内では、すでに多くの人がボランティアとして活躍されていますが、さらに活動しやすい環境を作ること、町に貢献していきたいと思っています。そのために、町について知っていききたいので、いろいろな場所、活動に顔を出しています。自分のことを見かけたら、お気軽に声をかけてもらえると嬉しいです。皆さん、よろしくお願いします！



えんどう かいと
遠藤 海渡 隊員

埼玉県出身、24歳。野沢7町内在住。担当部門はボランティア支援。趣味は野球。よくランニングや素振り、縄跳びをしています

にしあいづ物語100選 その88

文：田崎 敬修

江戸時代に起こった入会地の争い

土地の所有権や利用に関することは古今東西命がけのできごとでした。江戸時代の西会津でも土地の境界線や利用について村同士の争いがありました。一番有名なのは松尾村と縄沢村の山境の争議ですが、この大事件以後は複数の村が共同で利用する「入会地」の争いが増えています。

一般的に入会地とは、複数の村が共同利用する土地で、薪炭・用材・肥料用の落ち葉などを採取した山林と、まぐさ（馬や牛のえさ）や屋根を葺くカヤなどを採取した原野・河原の草刈場の2つに大別されます。西会津の場合は薪炭・まぐさ・肥料用の草などで、場所は山林です。以下、『西会津町史 第4巻（上）近世資料』の中から入会地の争いについて年代順にいくつかを紹介します。



▲入会地の争い

イラスト：田崎敬修

●寛文 11 年（1671） 萱本村・綱沢村入会山について証文交換

萱本村は山薪が不自由だったため綱沢村（縄沢村、江戸時代初期までは綱沢村と表記）に頼み、2つの山で薪を伐ることで両村は合意していましたが、萱本村の者が入会地でない所で薪を伐っていると騒ぎになりました。両村は2つの山以外では絶対に薪伐りをしないことを決め、証文を交換し和解しました。

●享保 2 年（1717） 小島・八重窪両村の刈敷入会山の騒動

入会地の薪を伐る時期を巡って両村の言い分が食い違い、八重窪村の者が小島村の舟や鎌を奪ったりしたのに対して、小島村もやり返す騒動がありました。

●享保 14 年（1729） 野沢本町村と縄沢村の入会山争い

本町村は昔から縄沢村の2カ所の山を入会山として草・木・カヤなどを伐っていましたが、突然、縄沢村からそこは入会山でないので入ってはいけないと言われました。郷頭が仲裁に入り、1つの山は本町村のいうとおりだが、もう1つの山は代替えの山にするようにとのことで落着きました。

●享保 14 年（1729） 上野尻村と下野尻村・白坂村の入会山争いと藩の裁定

昔から上野尻村は下野尻村を通して白坂村の入会山に往来していましたが、下野尻村が今までの通路は耕地地なので通ってほしくないと通行止めになりました。今度は上野尻村が道脇に積んでいた薪を白坂村が入会山と違う所で伐ったものだといって燃やしてしまいました。郡役所の裁定は下野尻村と白坂村の言い分は認められず両村役人は人牢となりました。

薪や草刈り場のことで村をあげて争うことなど今では考えられないことですが、当時は薪（燃料）や草（まぐさや肥料）が豊かか否かはそのまま生活の豊かさに直結していたのでした。



（4ページに関連記事）

今月は、新郷・清水自治区にある富士山山開きから。登山客の皆さんは、深緑に囲まれた富士山を登り、景色を楽しんでいました。頂上では、祠の下を3回くぐると善人に生まれ変わるとの言い伝えがある、胎内くぐりが行われました。

今月の表紙

お詫びと訂正
7月号20ページの町民バトンタッチの記事で◆次の方を紹介してくださいの回答に「M・Sさん」とあるのは、「M・Nさん」の誤りでした。お詫びして訂正します。